

教科・領域【 地理歴史科 】 科目【 地理 A 】

学科・コース	I・R・J	学 年	第 2 学年	単位数	2 単位
--------	-------	-----	--------	-----	------

1 学習内容と学習到達目標

- 1 現代世界の地理的な諸課題を、広い視野に立って多角的・主体的に地域性を踏まえて考察し、地理的な見方や考え方を身につけることを目指します。
- 2 身近な生活文化や国際社会の変化などにかかわる主題を設定し追究することで、現代世界の地理的認識を深め主体的な学習態度を身につけることを目指します。

2 使用する主な教材等

- (1) 使用教科書，副教材等
高等学校 新地理 A 初訂版（帝国書院），高等地図帳 改訂版（二宮書店），
地理演習ノート（啓隆社）
- (2) 授業で配布するもの
補足プリントを適宜配布し，ノートに添付して理解を深めるようにします。

3 年間の学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲 等
一 学 期	1 部 1 球面上の世界と地域構成	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緯度・経度の基本的なしくみを理解します。 ・ 地図の種類やその特性について理解します。 	中間考査
		5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時差のしくみと求め方を身近な題材に即して理解します。 ・ 国家の三要素や日本の領土問題を理解します。 	期末考査
	2 結びつく現代世界	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦終結後，経済的結合へと変化した国際社会を理解します。 ・ 行動様式の変化を考えます。 ・ 地域による消費行動の違いを考えます。 ・ 余暇活動の地域による違いを理解します。 	
		7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の気候について，それぞれの気候要素の特色を人間生活との関わりから理解します。 ・ 宗教・言語との関わりについて考えます。 	2 学期中間考査
《課題・提出物等》 各考査後に授業でまとめたノート・添付プリントを提出します。				
《1 学期の学習状況の評価方法》 定期・課題考査の状況や提出物の内容および出席状況をもとにまとめます。				

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考査範囲等
二 学 期	2 世界の諸地域の生活・文化	9	・ 異文化理解のため、その文化の背景にある価値観を知ることが大切であることを理解します。	中間考査
		10	・ ペキンの事例を通して中国の都市生活の現状を捉え、人口問題等への取り組みを理解します。 ・ 中国の経済成長について理解します。	期末考査
		11	・ 朝鮮の民族と文化、日本との関わりについて理解します。	
		12	・ 東南アジアの民族と文化の多様性についてマレーシアを例に理解します。	学年末考査
	《課題・提出物等》 各考査後に授業でまとめたノート・添付プリントを提出します。			
	《2 学期の学習状況の評価方法》 課題・定期考査の状況や提出物の内容および出席状況をもとにまとめます。			
三 学 期	3 部 地球的課題と私たち	1	・ インドの生活・文化を理解します。 ・ ヨーロッパの民族・文化について考えるとともに、EU の発展・拡大の過程を理解します。	学年末考査
		2	・ アメリカ合衆国現状を理解します。 ・ オーストラリアの現状について理解します	
		3	・ 世界人口の推移と、その背景にある発展途上国の人口爆発、先進国の少子化・高齢化という対照的な問題について理解します。 ・ 世界の食料生産・消費の問題を理解します。 ・ 発展途上国と先進国の都市問題の特徴と各々の解決のための対策について考えます。 ・ これからの資源・エネルギーのあり方を考えます。 ・ 森林破壊・大気汚染の現状と対策について理解します。	
	《課題・提出物等》 考査後に授業でまとめたノート・添付プリントを提出します。			
	《3 学期の学習状況の評価方法》 課題・定期考査の状況や提出物の内容および出席状況をもとにまとめます。			
	《年間の学習状況の評価方法》 年間を通じた学習過程で、現代世界への関心・意欲・態度、思考・判断、資料活用の技能・表現、知識・理解について、生徒の達成度を評価し、定期考査の状況や提出物の内容および出席状況などと総合的に評価します。			